



エコパートナーシップうじたわら

うじたわらの^{もっ}木くん

～茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまら～

発行日：平成20年3月6日（第22号）

編集・発行：エコパートナーシップうじたわら広報部会
事務局 TEL (88) 6635 FAX (88) 3231

家庭でできる地球温暖化防止特集

18世紀後半頃からの産業の発展に伴い、人類は石炭や石油などの化石燃料を大量に消費するようになり、温室効果ガスが大量に排出され、大気中の濃度が高まり熱の吸収が増えた結果、気温が上昇し、地球環境に影響が出始めています。

これからも人類が同じような活動を続けるとすれば、21世紀末には二酸化炭素濃度は現在の2倍以上になり、この結果、地球の平均気温は今より2.4～6.4℃上昇し、海面が最大で59cm上昇すると予測（気候変動に関する政府間パネル（IPCC）第4次評価報告書）されています。

このように地球温暖化の危機が迫っている中で私たちには何ができるのでしょうか。

【家庭でできる取り組み10項目】

私たちの生活を見直し、二酸化炭素の排出を減らすためにはどうすればいいのでしょうか。まず、ここで挙げた10の取り組みのうち、できるものから始めてみましょう。

1. 冷房の温度を1℃高く、暖房の温度を1℃低く設定する

カーテンを利用して太陽光の入射を調整したり、クールビズやウォームビズを取り入れることで、冷暖房機に頼らないで過ごせる。冷暖房を始める時期も少し待ってみる。

◆年間約33kgのCO₂の削減（2リットペットボトル約8,415本分）

◆年間で約1,800円の節約



2. 週2日往復8kmの車の運転をやめる

通勤や買い物の際にバスや鉄道、自転車を利用しましょう。歩いたり自転車を使う方が健康にもいいですよ。

◆年間約184kgのCO₂の削減（2リットペットボトル約46,920本分）

◆年間で約9,200円の節約



3. 1日5分のアイドリングストップを行う

駐車や長時間停車する時は、車のエンジンを切りましょう。大気汚染物質の排出削減にも寄与します。

◆年間約39kgのCO₂の削減（2リットペットボトル約9,945本分）

◆年間で約1,900円の節約



4. 待機電力を50%削減する

主電源を切りましょう。長時間使わない時は、コンセントを抜きましょう。また、家電製品の買い替えの際には待機電力の少ないものを選ぶようにしましょう。

◆年間約60kgのCO₂の削減（2リットペットボトル約15,300本分）

◆年間で約3,400円の節約



5. シャワーを1日1分家族全員が減らす

身体を洗っている間、お湯を流しっぱなしにしないようにしましょう。

◆年間約69kgのCO₂の削減（2リットペットボトル約17,595本分）

◆年間で約7,100円の節約



6. 風呂の残り湯を洗濯に使いまわす

洗濯や庭の水やりの他、トイレの水に使っている人もいます。残り湯利用のために市販されているポンプを使うと便利です。

◆年間約7kgのCO₂の削減（2リットペットボトル約1,785本分）

◆年間で約4,200円の節約



7. 炊飯ジャーの保温を止める

電気ポットや炊飯ジャーの保温は利用時間が長いため、多くの電気を消費します。ご飯は電子レンジで温め直すほうが電力の消費は少なくなります。

- ◆年間約34kgのCO₂の削減（2リットルペットボトル約8,670本分）
- ◆年間で約1,900円の節約



8. 家族が同じ部屋で団らんし、暖房と照明の利用を2割減らす

家族が別々の部屋で過ごす、暖房も照明も余計に消費します。

- ◆年間約238kgのCO₂の削減（2リットルペットボトル約60,690本分）
- ◆年間で約10,400円の節約



9. マイバックを持ち歩き、省包装の野菜を選ぶ

トレーやラップは家に帰れば、すぐごみになってしまいます。マイバックを持ち歩けばレジ袋を減らせます。

- ◆年間約58kgのCO₂の削減（2リットルペットボトル約14,790本分）
- ◆資源節約



10. テレビ番組を選び、1日1時間テレビ利用を減らす

見たい番組だけを選んで見る習慣をつけましょう。

- ◆年間約14kgのCO₂の削減（2リットルペットボトル約3,570本分）
- ◆年間で約800円の節約



地球温暖化はすでに始まっています。地球温暖化の被害が本格的に現れるのは、まだまだ先のこと…と考えていると、私たちの子供や孫たちに大きな負の遺産を残すことになってしまいます。私たちのエネルギーを多く消費するライフスタイルを変えていくことが地球温暖化を防ぐ一歩となります。

※出典：全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<http://www.jccca.org/>)

次の方・団体から賛助会費をいただきました。誠にありがとうございました

宇治田原町、株式会社宇治田原製茶場、宇治田原工業団地管理組合、宇治田原町商工会、宇治田原町森林組合、協栄開発株式会社、区長会、J A 京都やましろ宇治田原支店・田原支店、須河車体株式会社、株式会社馬場義電気、株式会社播磨園製茶、米田造園土木株式会社

※平成20年2月末現在（50音順・敬称略）

☆エコパートナーシップうじたわら入会のご案内☆

◆会員の区分

- ・個人会員＝町民、町内への通勤・通学者、環境に関心のある人
- ・団体会員＝町内で活動する団体及び法人
- ・賛助会員＝本会の趣旨に賛同し、活動を支援する個人・団体及び法人

◆会費

- ・個人会員・団体会員については、無料です。
- ・賛助会員については、活動支援金として年額1口5,000円の会費を募ります。

◆入会の方法

- ・入会申込書に必要事項を記入し、事務局に申し込んでください。

◆部会

- ・広報部会…会報誌の発行、活動報告書の作成、イベント等の啓発
- ・自然・生活環境部会…河川や動植物の学習会、自然観察ファミリーハイキング開催
- ・循環型社会・地球温暖化防止部会…生ごみ処理機の普及啓発、環境家計簿の普及等

応募先・お問い合わせ先：エコパートナーシップうじたわら事務局

（宇治田原町保健医療課循環型社会推進センター内）

〒610-0289 京都府綴喜郡宇治田原町大字荒木小字西出10

TEL 0774-88-6635 FAX 0774-88-3231

Eメール：junkan@town.ujitawara.kyoto.jp



茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまち 宇治田原